

水道管路緊急改善事業による断水回避

3か年緊急対策

5か年加速化対策

国土強靱化

NATIONAL RESILIENCE

災害時の効果発揮事例

概要 要:新潟市において事故や災害発生時に水道事業への被害を最小限に抑えるよう基幹管路の耐震化を実施。令和6年能登半島地震において、新潟市では震度5強を観測したが、当該管路においては被害は生じず、大規模かつ長期的な断水を回避できた。

対策名: 116 全国の上水道管路に関する緊急対策<3か年緊急対策>【厚生労働省】
70-2上水道管路の耐震化対策<5か年加速化対策>【国土交通省】

- 実施主体:新潟県新潟市
- 実施場所:新潟県新潟市
- 事業概要:事故や災害発生時においても施設被害を最小限に抑えるよう、水道施設の耐震化を実施。
- 事業費:32.5億円
(うち3か年緊急対策分5.1億円)
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)3.0億円)

主な事業	実施内容	事業費	実施期間
水道管路緊急改善事業	基幹管路の耐震化	約32.5億円	R1~R5
うち3か年緊急対策	管径:500~700mm 布設延長:約5.7km	約5.1億円	R1~R3
うち5か年加速化対策	管径:400~900mm 布設延長:約3.3km	約3.0億円	R4~R5

- 災害の外力:新潟市内の最大震度5強
- 被害と効果:新潟市西区・江南区を中心に液状化が発生し、多くの上水道管路が損傷したが、当該事業により更新した基幹管路は地震による被害が無く、大規模かつ長期的な断水を回避できた。



ダクタイル鋳鉄管(耐震継手(NS型)、管径700mm)布設工事